

中山義秀文学賞公開選考会

日時 令和3年11月14日(日) 13:30~

場所 新白信ビル イベントホール
(白河信用金庫西支店 白河市立石96番地)

入場無料・要申込
定員120名

下記事務局まで電話またはFAX、
窓口にてお申し込みください

候補作品

令和2年4月1日から令和3年3月31日までに刊行された書籍で、日本の歴史を素材とした文学作品(歴史・時代小説)の中から、最も優れた作品が選ばれます。受賞者には正賞および副賞賞金100万円ほかが贈呈されます。




ながい さやこ
永井 紗耶子

あきな おおかみ え どしよにんすぎともじゅうろう
『**商う狼** 江戸商人杉本茂十郎』
(新潮社)

甲斐の農家から江戸の飛脚問屋の養子となった茂十郎は、十組問屋との紛争解決で名を揚げた矢先に永代橋の崩落事故で妻と跡取り息子を失う。その悲しみを糧に、三橋会所頭取となり橋の運営に要する莫大な費用を集め、衰退した菱垣廻船を立て直して流通を一新。「金は刀より強い」と豪語し、疲弊した慣例を次々と打ち破る茂十郎は、いつしか“狼”と恐れられるようになり——。「商いの道理」を貫き、江戸の繁栄に生涯を捧げた実在の改革者に迫る圧巻の歴史小説。第40回新田次郎文学賞、第10回本屋が選ぶ時代小説大賞、第3回細谷正充賞受賞作。




みやもと まさたか
宮本 昌孝

あまさか は くに
『**天離り果つる国** (上・下)』
(PHP研究所)

飛驒の「幻の城」に魔の手が——。戦国武将が欲しがっていたのは、金銀と、鉄砲火薬に欠かせない塩硝。それらは飛驒の「天離る地」で豊富に産するという。宝の眠る里を手に入れようと企む、織田・上杉・本願寺……。そんななか、天下布武へ邁進する織田信長によってこの地に送り込まれたのが、天才軍師・竹中半兵衛の愛弟子・七龍太だ。今は白川郷と呼ばれるこの地を治めるのは帰雲城主・内ヶ嶋氏理。氏理には野生的な娘・紗雪がいた。七龍太は、領民の生活を守るため、内ヶ嶋の最強の姫武者・紗雪とともに立ち上がる。『剣豪將軍義輝』『風魔』の著者、渾身の「戦国エンタテインメント」。




せみたに めぐみ
蝉谷 めぐ実

あきな おおかみ え どしよにんすぎともじゅうろう
『**化け者心中**』
(KADOKAWA)

時は文政、所は江戸。当代之の人気を誇る中村座の座元から、鬼探しの依頼を受け、心優しい鳥屋の藤九郎は、かつて一世を風靡した稀代の女形・魚之助とともに真相解明に乗り出す。芸に心血を注ぐ“傾奇者”たちの凄まじい執念を目の当たりにするうち、藤九郎は、人と鬼を隔てるもの、足を失い失意の底で生きる魚之助の業に深く思いを致すことになり……。善悪、愛憎、男女、美醜、虚実、今昔——すべての境を溶かしこんだ狂おしくも愛おしい異形たちの相克。

選考委員

なかむら あきひこ さわだ どうこ いとう じゅん きよはら やすまさ
中村 彰彦氏(作家) 澤田 瞳子氏(作家) 伊東 潤氏(作家) 清原 康正氏(文芸評論家)

主催：中山義秀顕彰会 共催：白河市 白河市教育委員会 中山義秀記念文学館

後援：福島民報社 福島民友新聞社 朝日新聞福島総局 毎日新聞福島支局
読売新聞東京本社福島支局 河北新報社(公財) 立教志塾
(公社) 白河青年会議所 NPO 法人しらかわ歴史のまちづくりフォーラム

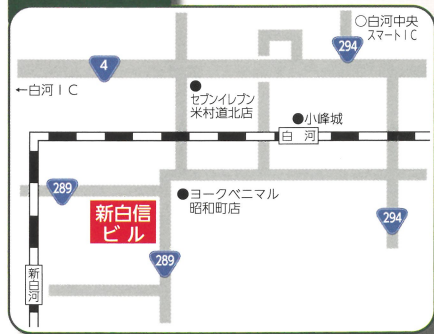
申込先：**中山義秀顕彰会事務局**(中山義秀記念文学館内)
電話 0248-46-3614 FAX 0248-46-3702

※窓口・FAXでお申込される際には、下記欄に必要事項をご記入ください。お電話でのお申込の際は、同事項をお伝えください。
お申込された方には後日入場整理ハガキをお送りいたしますので、当日ご持参ください。

【新型コロナウイルス感染対策にご協力ください】

◆発熱・咳・倦怠感などの症状がある方はご遠慮ください。 ◆ご来場の際にはマスク着用をお願いいたします。 ◆受付での検温・手指消毒にご協力ください。

会場案内図



	氏名	フリガナ	住所	電話番号
1				
2				
3				